

## いよいよ明日から夏休みです。

目指す学校像「学ぶ意欲にあふれ、心優しく、元気な子どもたちを 家庭・地域とともに育てる学校」～元気いっぱい 丹後っ子～のもと、丹後小学校開校3年目の71日間の1学期が終わりました。特に1年生にとっては、初めて経験することばかりでドキドキの連続の1学期だったことでしょう。すっかり小学生となり学校生活も板に付いてきました。これから続く学校生活のスタートをうまく切ることができました。これからの6年間でどんな成長をしていくのか楽しみです。2年生以上の学年も日々成長を感じさせてくれる1学期でした。

この1学期も昨年同様、新型コロナウイルス感染の影響で行事の中止や延期を余儀なくされました。運動会も中止となりましたが、そんな中でも運動会の取組を生かして各学年による「リレーカーニバル」や赤・青・黄の3つのチームによる「台風の目」を行うことができました。どの学年も真剣にリレーに頑張っていましたし、「台風の目」ではどのチームも上級生が下級生を上手に引っ張り、下級生は上級生の指示をしっかり聞いて素晴らしい取組になりました。

また、1学期の人権旬間では、各学級で授業について、また友達関係について実態を出し合い、課題解決に向けた学級の目標を決め、取り組むことができました。

このように新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、子どもたちはそれぞれが確かな成長を遂げ1学期の終業式を迎えることができ大変うれしく思っています。

また本日、児童の個別の学習・生活の評価は、『通信簿』という形で家庭にお返ししました。ぜひ子どもたちのがんばったところや良さなどを肯定的に評価していただければありがたいです。合わせて、成績等において疑問点やご意見がありましたら、担任や学校にお伝え下さい。

さあ、子どもたちが家庭・地域にもどっていく『夏休み』が始まります。

夏休み、家族の一員としてお手伝いをがんばることはとても大切な経験となります。

子ども達にも、責任を持って取り組むお手伝いをさせてあげて下さい。その経験が社会人となった時に生きてきます。自分が家族にとってかけがえのない存在となれるように夏休みをぜひ、有効活用して欲しいと思っています。また夏休みの宿題に取り組んでいる姿を見かけたら積極的にほめてもらうなど、子どもたちが家庭でも自己有用感や自己肯定感を高め、目標を持って長い夏休みを過ごすことができるようご協力のほどよろしく願います。

校長 室井 良夫